

# 熊本県感染症情報 (第39週)

県内154定点医療機関からの報告数 9/21～9/27

No.	疾患名	今週	前週
1	インフルエンザ	0	0
2	RSウイルス感染症	0	0
3	咽頭結膜熱	7	7
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18	15
5	感染性胃腸炎	98	109
6	水痘	6	9
7	手足口病	7	16
8	伝染性紅斑(りんご病)	1	1
9	突発性発しん	33	27

No.	疾患名	今週	前週
10	ヘルパンギーナ	31	76
11	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0	2
12	急性出血性結膜炎	0	0
13	流行性角結膜炎(はやり目)	0	3
14	細菌性髄膜炎	0	0
15	無菌性髄膜炎	0	0
16	マイコプラズマ肺炎	0	0
17	クラミジア肺炎	0	0
18	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0

各疾患別定点医療機関数			
No.1	: 80	No.12、13	: 9
No.2～11	: 50	No.14～18	: 15

## 【報告数の多い疾患】

地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

### 感染性胃腸炎

報告数: 98件 (前週: 109件)

地区別: 菊池、有明、八代

年齢別: 1歳、10-14歳

いずれも21件 (21.4%)

### 突発性発しん

報告数: 33件 (前週: 27件)

地区別: 菊池、有明、宇城、熊本

年齢別: 1歳

17件 (51.5%)

### ヘルパンギーナ

報告数: 31件 (前週: 76件)

地区別: 宇城、御船、天草

年齢別: 1歳

9件 (29%)

## 【腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう】

今週(第39週)は、腸管出血性大腸菌感染症の報告が2件ありました。夏季を中心に多く発生する傾向がありますが、年間を通して発生するため注意が必要です。集団発生を抑えることが全体の患者数を抑えることに繋がります。

以下の予防のポイントを確実に行って、腸管出血性大腸菌の感染を予防しましょう。

### 【原因】

・ペロ毒素を産生する腸管出血性大腸菌に感染することで起こります。感染力は強く、わずか50個程度の菌数で発症する可能性があります。

### 【感染経路】

・腸管出血性大腸菌で汚染された食物などを摂取することによっておこる「食中毒」が主体です。また、ヒトからヒトへの2次感染(経口感染)もあります。

### 【症状】

・多くの場合、3～5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛をともなう頻回の水様便の後に血便が見られます。発熱は多くの場合37℃台です。

### 【その他】

・発症者の6～7%に溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症などの重篤な合併症が起こります。特に子供さんや高齢者の方は感染すると重症化しやすいと言われています。

### 【予防のポイント】

～食中毒予防のために～

調理の時には、こまめに手を洗いましょう。特に、生肉を扱った手はすぐに石鹸で洗いましょう。

お肉は生で食べないようにし、必ずよく加熱してから食べましょう。

お肉を焼くときの取り箸は食べるお箸とは別にして、口に入れないようにしましょう。

生の肉を扱った調理器具は、洗って熱湯をかけたのち、別の調理に使うことが大切です。

調理した食品は、時間をおかずにすぐに食べましょう。



～ヒトからヒトへの感染予防のために～

トイレの後や食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。

患者さんのお世話をする方は、使い捨て手袋を使うなどして下痢便に直接触れないようにしてください。

下痢症状のあるときはプールの使用は控えましょう。

# 熊本県感染症情報 (第39週)

報告期間	第32週	第33週	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週	第39週	第36週	第37週	第38週
	7週前	6週前	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週	全国3週前	全国2週前	全国1週前
	8/3~8/9	8/10~8/16	8/17~8/23	8/24~8/30	8/31~9/6	9/7~9/13	9/14~9/20	9/21~9/27	8/31~9/6	9/7~9/13	9/14~9/20
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	4
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0
咽頭結膜熱	7	10	9	8	6	3	7	7	552	542	541
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14	0.20	0.18	0.16	0.12	0.06	0.14	0.14	0.17	0.17	0.17
感染性胃腸炎	19	13	24	16	25	15	15	18	1,833	1,775	1,945
水痘	0.38	0.26	0.48	0.32	0.50	0.30	0.30	0.36	0.58	0.56	0.63
手足口病	126	57	101	96	117	84	109	98	6,148	5,935	5,698
伝染性紅斑	2.52	1.14	2.02	1.92	2.34	1.68	2.18	1.96	1.94	1.88	1.84
突発性発しん	11	8	9	11	13	4	9	6	302	336	375
ヘルパンギーナ	0.22	0.16	0.18	0.22	0.26	0.08	0.18	0.12	0.1	0.11	0.12
流行性耳下腺炎	27	15	28	29	33	21	16	7	485	437	383
急性出血性結膜炎	0.54	0.30	0.56	0.58	0.66	0.42	0.32	0.14	0.15	0.14	0.12
細菌性髄膜炎	1	2	0	1	1	0	1	1	32	37	38
無菌性髄膜炎	0.02	0.04	0.00	0.02	0.02	0.00	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎	43	23	33	30	29	55	27	33	1,611	1,601	1,521
クラミジア肺炎	0.86	0.46	0.66	0.60	0.58	1.10	0.54	0.66	0.51	0.51	0.49
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	425	216	148	177	130	106	76	31	1,289	1,118	1,081
	8.50	4.32	2.96	3.54	2.60	2.12	1.52	0.62	0.41	0.35	0.35
	1	2	4	5	2	2	2	0	170	191	178
	0.02	0.04	0.08	0.10	0.04	0.04	0.04	0.00	0.05	0.06	0.06
	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	5	7	6	11	7	4	3	0	178	152	154
	0.56	0.78	0.67	1.22	0.78	0.44	0.33	0.00	0.26	0.22	0.23
	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	10
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.01	0.02
	0	0	0	0	0	0	0	0	11	8	7
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.01
	0	0	0	0	0	0	0	0	33	31	29
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.06	0.06
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	-
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-
	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

### 【1類～5類感染症(全数把握)の報告】

- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 : 2件(今年32件)
- 4類感染症 A型肝炎: 1件(今年2件)  
レジオネラ症: 1件(今年28件)
- 5類感染症 梅毒: 3件(今年95件)  
百日咳: 2件(今年120件)

#### 参考

県内における腸管出血性大腸菌による感染者累計  
(令和2年(2020年)9月27日現在)  
令和2年(2020年) 32人(患者:17人 無症状病原体保有者:15人)  
昨年同期 47人(患者:33人 無症状病原体保有者:14人)

### 【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

( 全国の流行状況の情報還元には時間差があるため、全国の情報は1週間までの内容になります。 )

手足口病  
ヘルパンギーナ

### 【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

ヘルパンギーナ 宇城

### 【 病原体検査情報 】

県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。  
季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

#### インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) 2020/21シーズン(R2.8/31~)の累計

	A型			B型
	季節性 H1pdm(AH1pdm09)	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計)	0件	0件	0件	0件
(昨シーズン累計)	17件	0件	0件	1件

#### 呼吸器疾患病原体検出状況 第1週(R1.12/30~)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
5件 (20件)	4件 (5件)	2件 (7件)	0件 (7件)	5件 (3件)	0件 (1件)
アデノウイルス	その他				
1件 (2件)	332件 (2件)				

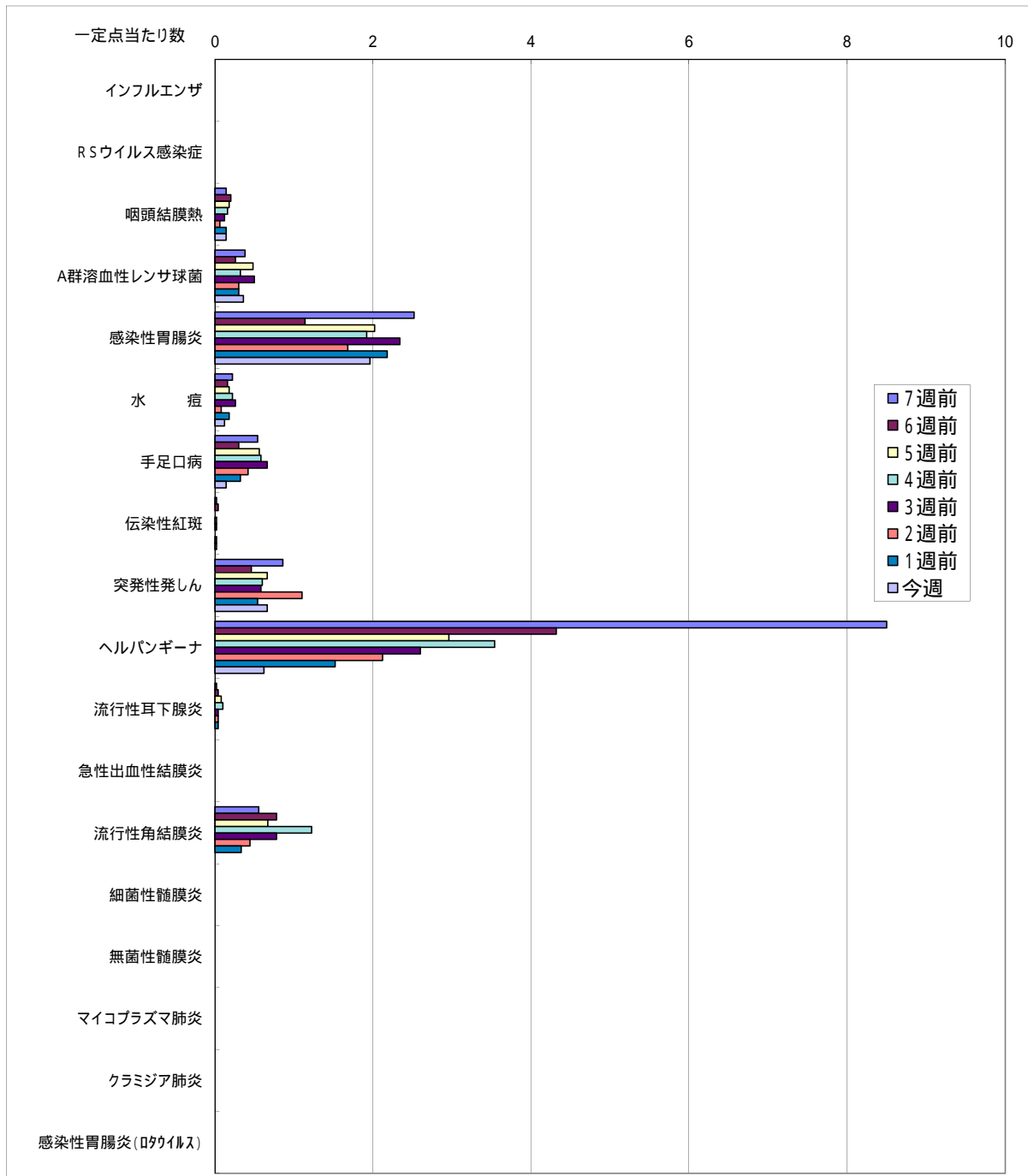
( カッコ内は昨シーズン累計 )

#### 感染性胃腸炎病原体検出状況 第1週(R1.12/30~)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
9件 (35件)	1件 (3件)	0件 (3件)	0件 (4件)	1件 (4件)	2件 (16件)

( カッコ内は昨シーズン累計 )

一定点当たり週別発生状況の推移



一定点当たりの数値が10.00を超えた場合の推移は前の表で確認してください。



